

2. 中心市街地の活性化について（問4～問6）

問4 中心市街地へいく場合の主な目的は何ですか。（複数回答：n=2,459）

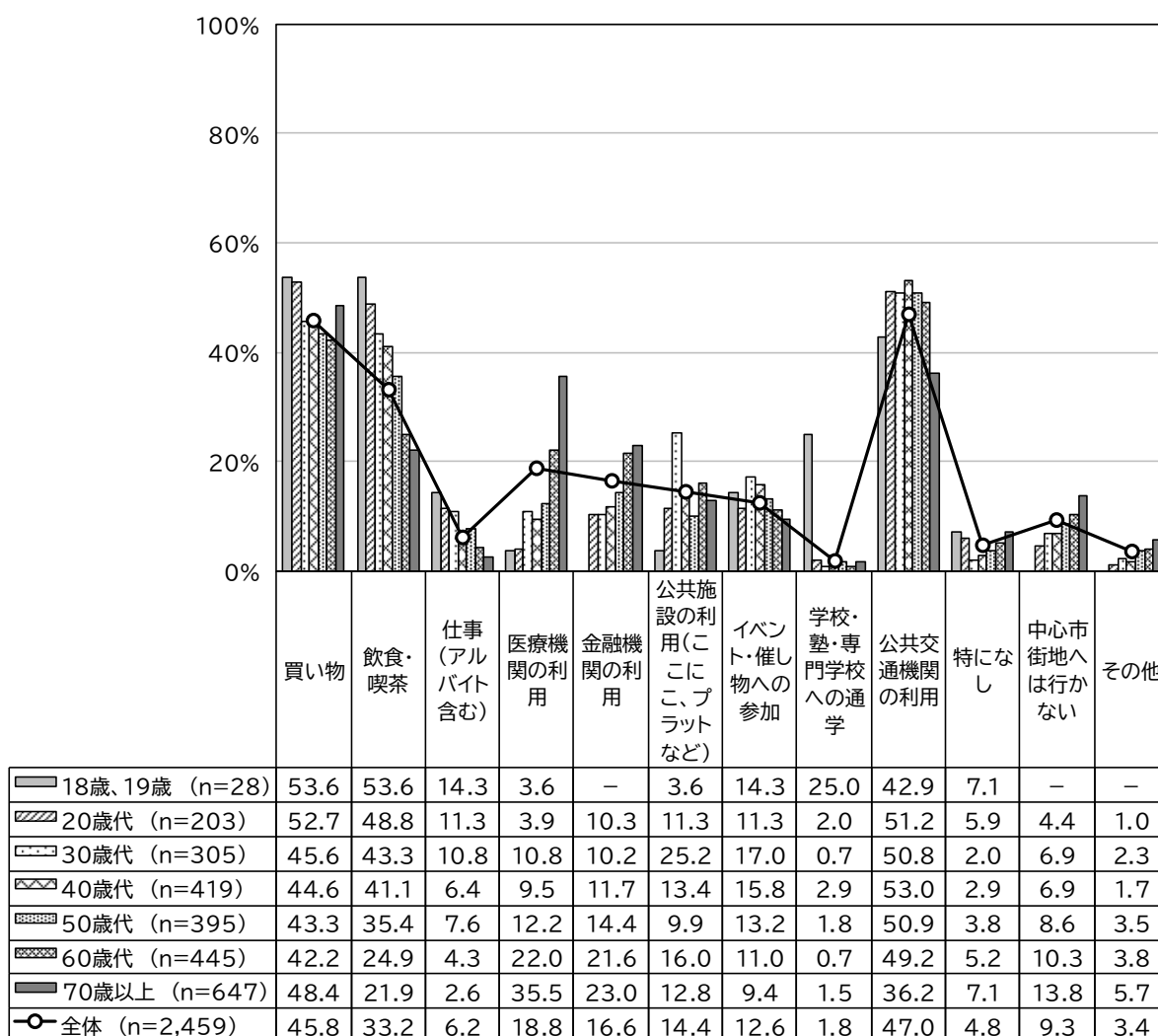
（1）全体的傾向

「公共交通機関の利用」と回答した人の割合が47.0%で最も高く、次いで「買い物」（45.8%）、「飲食・喫茶」（33.2%）と続いている。

（2）年代別にみた特性

すべての年代で、「公共交通機関の利用」と回答した人の割合が高く、特に20歳代から60歳代は、49.2%～53.0%と高くなっている。

また、20歳代以下は、「買い物」と回答した人の割合が52.7%～53.6%、70歳以上は、「医療機関の利用」と回答した人の割合が35.5%と他の年代と比べ高くなっている。



問5 現在の中心市街地は、概ね5年前と比べにぎわいが増していると思いますか。
(n=2,466)

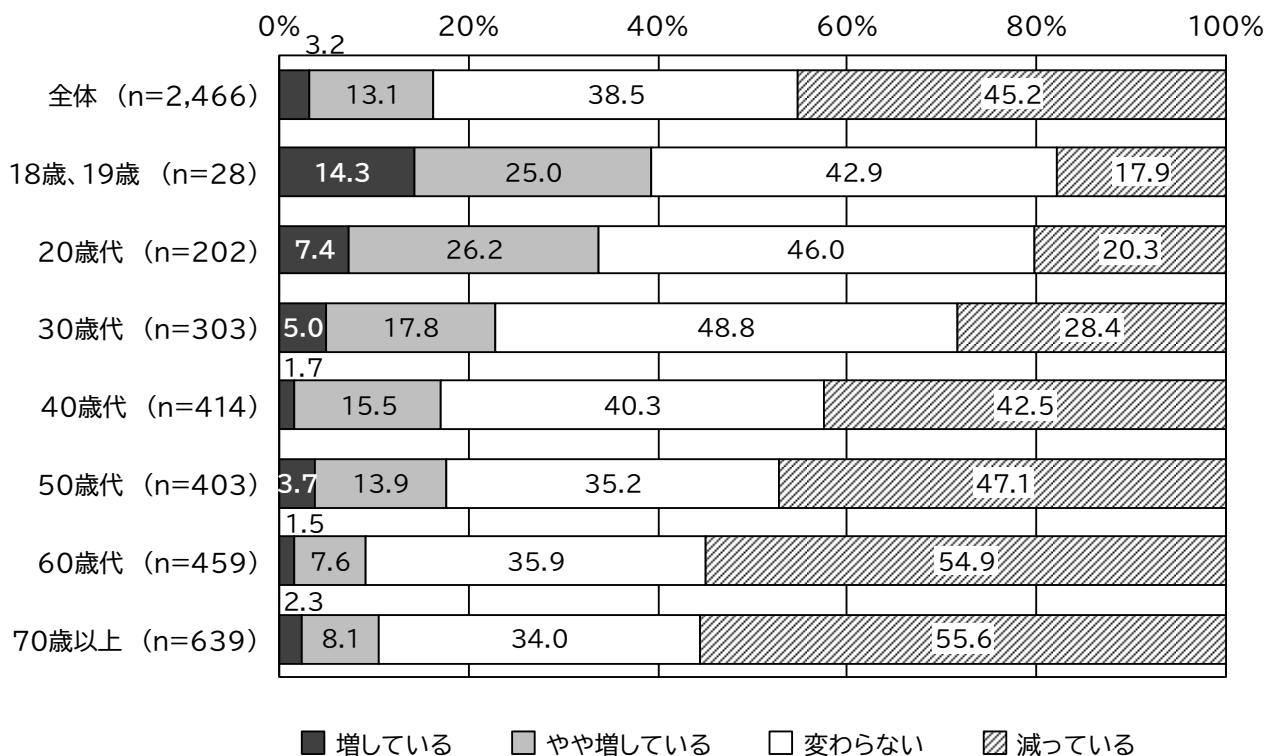
(1) 全体的傾向

「減っている」と回答した人の割合が45.2%と最も高く、次いで「変わらない」(38.5%)、「やや増している」(13.1%)、「増している」(3.2%)となっている。

(2) 年代別にみた特性

「増している」、「やや増している」と回答した人を合わせた割合が、年代が低くなるほど高くなる傾向があり、18歳、19歳は39.3%となっている。

一方、「減っている」と回答した人の割合は、年代が高くなるほど高くなる傾向があり、60歳代以上は5割を超えている。



問6 現在の中心市街地をより活性化させるためにどのような取り組みが重要だと思いますか。（複数回答：n=2,497）

(1) 全体的傾向

「魅力ある商業・サービス業の開業促進」と回答した人の割合が66.0%で最も高く、次いで「空き店舗や駐車場等の低未利用地の活用」(45.1%)、「自家用車で訪れやすくするサービスの向上」(44.1%)と続いている。

(2) 年代別にみた特性

すべての年代で、「魅力ある商業・サービス業の開業促進」と回答した人の割合が最も高く、60歳代以下は6割を超えている。

また、18歳、19歳と70歳以上は、「公共交通機関や自転車で訪れやすくする環境づくり」と回答した人の割合が30.0%~34.0%、40歳代と50歳代は、「自家用車で訪れやすくするサービスの向上」と回答した人の割合が48.5%~50.9%と他の年代と比べ高くなっている。

